



7/16「生き物・飼育委員会」 朝会で教えてもらったことを守って 安全に夏休みを過ごしましょう！

本校では、各委員会が自分たちの活動内容紹介やお願いや取り組んで欲しいことなどを子供自身がタブレット端末を使ってスライドや映像を作成して、全校児童に紹介しています。

1学期前半最後の児童朝会は「生き物・飼育委員会」でした。

夏休みを前に、「生き物・飼育委員会」は、沖縄特有の危険な生物について紹介し、身の守り方や実際に刺されたり咬まれたりしたときの対処方法を教えてくれました。

【生き物・飼育委員会の制作したスライドから】

身を守るための海での行動

- ①海では一人で遊ばない。子どもだけでは、海に行かない。
- ②海で泳ぐ時は、ラッシュガードや長袖Tシャツで肌を守り、ライフジャケットを着るようにする。遊ぶ時も、マリンシューズをはく。
- ③キケンな生き物についての知ろう！
- ④刺されたりかまれたりした場合は、すぐ大人に伝えて病院に行く。
- ⑤海岸に流れ着き死んでいる生き物も毒を持っている事があるので、むやみに触らない。

ガンガゼについて

さされるとトゲが折れ、ささった部分はトゲがぬけにくい。

大きさは10cmほどの体から長さ30cmにもなる

トゲが出てくる。ガンガゼはウニの仲間。

多く見られる場所は岩の下やくぼみにいて、トゲだけが見えていることがあるので、あさい所には気をつける。



ハブクラゲについて

ハブクラゲは、何かにふれると毒針が飛び出します。刺されるととても痛く、ショック症状を起こすことがあります。

対策方法はウェットスーツやラッシュガードをつけ、被害を最小限に抑えます。カサが透明で、海の中では見つけにくいので気をつけましょう。



ハブのいる場所

- ・ハブの活動時期
4月～6月と9月～11月
- ・ハブのいる場所
草むら、石垣、ネズミ類がいる場所、住宅街や公園など



もし、かまれたらあわてず行動

1. かんだのがへびかハブか、かくにんする

かまれたあとが1～4カ所、5分もしないうちにはれて強い痛みがしたらハブの可能性がある

2. ハブだったら大声で助けを呼ぶ
大声で助けを呼んで、救急車で病院に行く

3. 病院まで、時間がかかる場合

包帯やネクタイなどで、かまれた所より心臓に近い所をゆるくしぼる。15分に1回はゆるめる。



「生き物・飼育委員会」は発足直前に、飼っていた最後のウサギが老衰で天に召され、活動をどうするか相当悩んでいました。

でも校内の自然環境や生き物に目を向け、敷地内に住む生き物を写真で記録し、観察できる場所を1階ストリートに作っています。

見つけた生き物の名前や特徴など図鑑やインターネットを使って調べ、沖縄の固有種と外来種についても調べて掲示しています。分析・飼育・掲示等幅広く活動をしています。今後、校内で見つけた生き物を地図にまとめるそうで、全校児童から調べて欲しい生き物等も募集中のようです。

子供たちの無いところから課題を見つけ、活動に繋げる力に驚き、感動しています。今後の活動が楽しみです。

